



上棟式法要の様子



木遣保存会 明木会の皆様

静岡市葵区建穂 極楽寺様
本堂新築 上棟式

令和七年十月二十六日、静岡市葵区建穂の極楽寺様（浄土宗・山口住職）にて、本堂新築工事の上棟式が執り行われました。

当日は天候が心配されておりましたが、ほとんど雨に見舞われることもなく、穏やかな空のもと、檀家の皆様や地域の方々が多数お集まりくださり、笑顔あふれる晴れやかな式となりました。

式では、木遣保存会「明木会」の皆様による「建方木遣」やお祝い木遣の「宝船」、さらには「火伏せ」などの奉納が行われ、力強い歌声が境内に響き渡りました。伝統の木遣が上棟の喜びに華を添え、会場は温かな拍手に包まれました。

上棟法要は客殿にて厳かに執り行われ、続いて天峰大工による「工匠の儀」が古式ゆかしく執行されました。槌打ちの儀では、棟木を工匠たちが「未来永劫、堅固であれ」と願いを込めてかけやを打ち、工匠頭を務めた葛城棟梁の力強い唱え詩が響き渡りました。その厳粛な音と声に、出席者一同が深く感銘を受けておられました。

ご住職様をはじめ、建設委員会の皆様のご尽力により、このたび無事に上棟の節目を迎えることができましたこと、心よりお慶び申し上げます。

天峰大工一同、これまで以上に気を引き締め、安全第一に、立派な本堂の完成を目指して誠心誠意努めてまいります。